

- **通信総合研究所情報セキュリティセンターの設置について**
- **平成15年12月25日**

独立行政法人通信総合研究所(以下CRL。理事長:飯田尚志)は、国民の安全と安心を目指した研究開発の一層の強化のため、情報セキュリティセンターを平成16年1月に発足させます。

高い中立性・公共性を生かし、国民の安心・安全を目指した研究開発を推進し、情報セキュリティに関して我が国の研究開発を強力に進める求心力としての役割を担うことを目指します。

## <背景>

インターネットの普及発展により、ブロードバンド利用者は急増しており、2003年8月現在で1179万人が加入している状況です。このように社会経済がITへの依存を高める中、コンピュータウイルスの悪質化、広域発生に伴う経済的被害の拡大など、情報ネットワークへの脅威が増大かつ深刻化してきています。一方、我が国の情報セキュリティ分野の研究開発については要素技術を中心に拡充されつつあるものの、実際に導入されている情報通信システムに追いついていないのが現状です。

## <情報セキュリティセンターの発足>

CRLでは、平成8年に非常時通信研究室(現非常時通信グループ)を設置し、情報セキュリティの研究開発を推進してまいりました。

今回、CRLでは、上記の社会的ニーズなどを背景に、これまでの研究実績を踏まえ、高い中立性・公共性を生かし、国民の安心・安全を目指した研究開発の一環として、平成16年1月に「情報セキュリティセンター」を発足させます。

これにより、情報セキュリティに関して我が国の研究開発を強力に進める求心力としての役割を担うことを目指します。センターの組織や活動内容については、下記の通りです。

- センター全体の研究推進を統括する推進室を設置するとともに、これまで1グループの構成を3グループに増強し、緊急時における臨時通信網(アドホック網)の構築・制御技術、サイバー攻撃(インシデント)の分析のための通信記録(ログ)解析技術、有線・無線を統合した安全な通信手順(セキュアプロトコル)技術など、研究テーマを大幅に拡大します。
- またCRLの大規模研究開発施設を活用し、民間の中立的なセキュリティ情報分析機関であるTelecom-ISAC Japan(テレコムアイザックジャパン)\*別紙参照からのインシデント情報に当センターで行った高度な分析結果をフィードバックすることにより、緊急性の高いサイバー攻撃に対しても迅速に対応できる体制を整えるなど、最先端の研究成果を迅速に社会へ還元することを目指します。
- 大学や他の研究機関と密に連携することにより、深刻な人材不足が指摘されている当分野の専門家育成に積極的に寄与します。

## <連絡先>

情報通信部門 丹代 武  
TEL 042-327-5774 FAX 042-327-6640

企画部企画室 加藤明人  
TEL 042-327-6343 FAX 042-327-7458

<用語解説>

## Telecom-ISAC Japan

ネットワークインフラに発生したインシデントに関する情報を収集・分析し、その結果をインターネットサービスを行う業界内で共有することにより、セキュリティ確保、防護連携を図ることを目的として、平成14年7月に発足した民間機関。